

速報

インターネットバンキング

ウイルス感染により残高が0円に!

事例



愛知県内に住む主婦が、自宅において残高確認のためインターネットバンキングにログインすると、画面が真っ白になり、約3分間画面が動かなくなった。

その後、「ご契約カードの裏面の4桁の数字を入力してください」という画面が表示されたため、銀行のセキュリティの関係で送金前に入力するようになったのかなと思い入力したところ、いつもの個人ページに戻った。

その直後、取引履歴を見ると、見知らぬ相手に全額送金され、預金残高が0円となっていた。

この事例は、MITB攻撃型ウイルスによるものと考えられます。

このウイルスに感染すると、利用者がID及びパスワードを入力して通常取引を開始した裏側で、送金先の口座番号や金額を書き換えられてしまいます。

その際、パソコンの画面は、「ダウンロード中です」「読み込み中です」等の表示がされる場合があります。

その後、ウイルスが偽画面を表示させるなどして追加のパスワードを盗み、直後に送金を行ってしまうため、ワンタイムパスワードであっても不正な送金がなされてしまいます。

※MITBとは、マンインザブラウザ(Man in the Browser)の略

対策

最低限の対策

- ① ウイルス対策ソフトの導入
- ② ウイルス定義ファイルを常に最新に
- ③ ウイルスの定期検索を行う
- ④ OS、ブラウザ等を常に最新に



金融機関が提供する対策の導入

・ ログイン直後に「ダウンロード中です」「読み込み中です」等が表示される場合は要注意！ウイルスチェックを！

・ 入力画面に違和感を感じた場合は、取引を中止し、金融機関に問い合わせを！

愛知県警察本部サイバー犯罪対策課
電話(052)951-1611(代表)